

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 17 日

札幌市立 前田中央小学校

1 今年度の重点目標

～まんなかに思いやりがある学校の創造～
～まわりも自分もだいじにできる前田中央の子～

2 本年度の経営方針

- ①子ども理解に努め、子どもたちが安心して学び、「わかった!」「もっと!」が見える学級経営
- ②「学年ローテーション道德」では学年の頑張りを「見える化」し、学校全体での子ども理解へ。
- ③体験学習など、本物から学ぶ・五感をはたらかせて学ぶ機会を大切に、心と体を育てる。
- ④自治的活動では、困ったり悩んだりしながらも自分たちで取り組む経験を取り入れ、心を鍛える。
- ⑤「認める」「価値付け」「評価」をすることで次の目標設定につなげ、自主的な気持ちを育てる。
- ⑥共通理解のためスタンダードを作る、見える化等、できるところから、働き方改革を促進する。
- ⑦コミュニケーションスクールの導入によって、より一層、地域との連携をみんなが意識する。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価と改善方策		学校関係者評価	
		達成状況		自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	まわりも自分も大事にできる子	A	教職員による姿の共有化をはかり、各分掌がその実現に向けて取り組むことができた。児童の思いは徐々に変化し始めているところであるため、次年度も継続して取組を進めていく。	A	A
学校関係者評価委員会による意見	「まわりも自分も大事にできる子」を大事にしていきたいと思います。あつたかな心の育みを大事にすることこそが素敵です。ミニ児童会館で見える子どもたちの変化については都度報告、連絡、相談をさせていただきたいと思います。				
学習環境の整備	安心して学習できる環境を整える	B	実物投影機の台を教職員で作成する等、教育環境を整えた。ホワイトボード等必要なものを迅速に購入し、不必要なものを廃棄することで、校内の環境が整い、効率的に授業を進めたり、働きやすい環境にすることができた。	A	A
「学ぶ力」の育成	「分かった!」「できた!」を実感できる学びの充実を図る	B	ICTの活用、基礎基本の習得のためのカリキュラムの見直しにより、分かる喜びと次の学習へ向かう意欲を育てることができた。特に、前田中央タイムを実施し、学びを楽しいものと感じさせることができたことが大きな成果である。家庭学習の取組を見直し、計画的に実施できるようにしたり、他の児童の学習内容を交流する場を設定したりすることにより意識を高めることができた。	A	A
「豊かな心」の育成	人の役に立とうとする思いやりの心を育む取組を進める	B	「あいさつはだいじ」の合言葉のもと、あいさつの取組を充実させることにより、人とのかかわり方を学ばせることができた。	A	A
「健やかな体」の育成	体を動かすことに楽しさを実感できる取組を進める	B	マットや跳び箱週間を設定し、一つの種目に浸る機会を創出することで、運動の楽しさを実感させることができた。	A	A
いじめ対策	いじめの兆候を見逃さず、早期発見、早期対応の取組を推進する	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの支援支援委員会や対策会議を必要に応じて開催し、学校のみならず、外部機関と連携し、柔軟な対応を図ることができた。 ・ 学校独自のアンケートを実施し、児童の悩みや不安を聞き取る。また、いじめに該当するような事案を見聞きしていないか情報を収集し、未然防止を図ることができた。 ・ 必要に応じて家庭訪問や電話連絡を行う。また、必要に応じて学校で相談できる場を設けることができた。 	A	A
一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)	前田中学校区の4校と連携して「知・徳・体」の育ちのバランスを共有する	B	前田セッションを年間計画に位置付け、計画的に、かつ有機的に交流を進めることができた。特に1月には、前田中学校に4校の教職員が集い、育ちの状況などを共有することができた。	A	A
学校関係者評価委員会による意見	<p>校内環境を整備することは子どもたちの育ちの大切な要件になっていると思います。まずはきれいな学校を標榜し、前向きに整備できています。手作り感も素敵だと思います。</p> <p>わかる喜びと次の学習へ向かう意欲の向上が見られているのは大きな成果だと思います。学びが楽しいと感じてこそ次の学びへのエネルギーになっているのは大きな成果です。学習スタイルの多様化も進んでいると思います。</p> <p>自分の心をあつたかくするためには、自己肯定感の高まりが重要と考えています。「みんな、君のことが大好きだよ。」と感じてもらえる日常を作り上げていくことだと思っています。保育園でも課題の一つになっています。</p> <p>マットや跳び箱運動に焦点化するのもおもしろい取り組みの一つだと思います。身体を使った遊びにどんどん取り組んでほしいものです。遊びは、心にも仲間意識にもつながる大切な要素と考えています。</p> <p>日常の教育活動の中で、悩みや不安を聞き取ることは難しいと思います。時間のなかなかな、保護者面談や家庭訪問を積極的に実施していることには、頭が下がります。今後も重要視されていく視点になっていくのでよいですね。</p> <p>小中の連携が叫ばれてからずいぶん長い時間が経過しているように感じています。何を目指していくのかがぶれていかないうちに期待します。</p> <p>子どもたちを見守る地域の一員として、ミニ児童会館でできることがあればいつでもお声がけください。</p> <p>クロームブックの使い方、正しい生活習慣の認識、それらの改善や避難訓練などに対する家庭との乖離は埋めたいですね。PTAで担える役割があればお声がけください。</p>				